



西部教育局からのお役立ち情報

今月のトピック紹介版

12月号



解決の見通しをもち、主体的に問題解決に取り組む！

小学校単元到達度評価問題から見えてきた課題として、「問題文の意味を理解し、解決すべきことを把握すること」「自分で予想を立てたり、見積りをしたりして、見通しをもって問題を解くこと」が挙げられます。今月は、未知なる問題に出合った子供たちが問題を解決するためにどのように見通しをもって取り組めばよいのか、具体的な問題を通して紹介しています。小・中学校における算数・数学の日々の授業づくりにお役立てください。

(中学校)新学習指導要領の実施に向けた授業改善と定期テストの問題作成(社会科編)

大学入試の改革に伴い、全国的に高校入試も思考・判断・表現力を問う問題が増える傾向にあります。今月は、社会科を例に、複数の情報を関連付けて考察しまとめるといった社会的な見方・考え方を働かせて思考・判断・表現する力を付ける活動例や問題例を紹介しています。定期テストの作成や日々の授業づくりにお役立てください。

定期テストに導入したいアウトプット型の評価問題(中学校外国語)

全国学力・学習状況調査予備調査(中学校外国語)の「放送内容を聞き取り、自分の考えを1文以上の英語で書く」といった技能統合的な問題や「聞き取った内容を基に応答する」高校入試の問題を例に、今、どのような力が求められ、どのような授業改善が必要なのかを紹介しています。定期テストの作成や日々の授業づくりにお役立てください。

西部地区不登校の現状と今後の対応

問題行動調査の結果が公表されましたが、西部地区の不登校の現状を見ると、昨年と同時期より増加傾向にあります。今月は、学期末に向けての取組や月例報告のデータをもとに子供や保護者に対応する際の留意点等を紹介しています。今一度、教育相談体制の在り方や流れを確認していただき、子供たちの支援にあたっていただきますようお願いいたします。

特別支援教育ほっと通信

知的障がい特別支援学級においては、学校での生活を基盤として、学習や生活の流れに即して学んでいくことが効果的であることから「各教科等を合わせた指導」が実践されている場合があります。今回は、法的根拠を紹介しながら、効果的な指導を行うためのポイントを紹介いたします。今後の教育課程の見直しや編成にお役立てください。

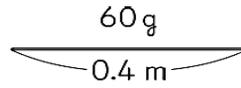
解決の見通しをもち、主体的に問題解決に取り組む！

0.4mの重さが60gの針金があります。

この針金について、次の問題に答えましょう。

- (1) 針金0.2mの重さは何gですか。また、0.1mは何gですか。
- (2) 針金1mの重さを求める式をかきましょう。

(平成30年度全国学力・学習状況調査算数A問題参照)



いきなり立式しようとすると、2つの数量の関係を捉えられない子供は困るだろうな。丁寧に見通しをもたせることが大切だな。



【ポイント①】 解決しやすい数に置きかえて考える

針金は何mなら重さがすぐに分かりますか？

4mなら分かります。0.4mの10倍が4mだから、重さも10倍の600gになるからです。

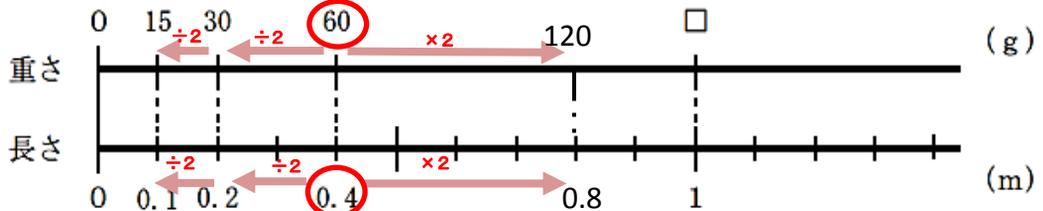
0.8mなら分かります。0.4mの2倍が0.8mだから、重さも2倍の120gになるからです。

ということは、1mは120gより少し重いということだね。

POINT! どのような数に置きかえたかを問うだけではなく、なぜその数に置きかえることで解決しやすくなるのかを説明させる。⇒「なぜその数にしたの?」「その数にするとどうして簡単になるの?」

【ポイント②】 図や数直線に表すことで、数量の関係を視覚的に理解する

数直線に分かったことを書き込んでいきましょう。



0.2mも分かったよ！0.4mの半分が0.2gだから、重さも半分の30gだよ。

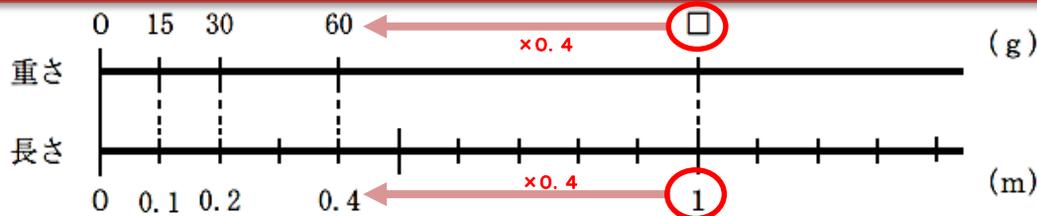
それなら、0.1mは0.2mの半分だから、重さは30gの半分で15gだ！

数直線に表すと、2つの数量の関係が分かりやすくなったね。これをもとにもっと簡単に計算できないかな。

POINT! 図や数直線をもとにして数量関係をまとめる⇒「針金の長さが2倍、3倍になると、針金の重さはどうなる?」「針金の長さと言針金の重さは比例しているといえる?」

【ポイント③】 見通しを立式や問題解決に生かす

針金の1mの重さは、どのような式で求められますか？



1mの0.4倍が0.4mだから、重さも□gの0.4倍になるはずだね。

□×0.4=60だから、□を求める式は60÷0.4だね。計算すると150だから、見通しとも一致するよ。

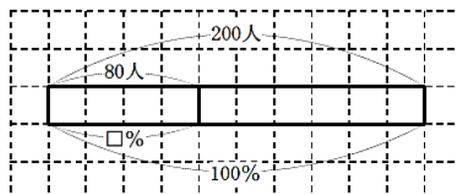
【参考】見通しだけで解ける問題もあります

ある会場に子どもたちが集まりました。集まった子どもたち200人のうち80人が小学生でした。小学生の人数は、集まった子どもたちの人数の何%ですか、1から4までの中から1つ選びましょう。

(平成30年度全国学力・学習状況調査算数A問題)

- 1 0.4%
- 2 2.5%
- 3 40%
- 4 80%

図に表して、だいたい何%になるか考えてみましょう。



50%なら100人だから、それよりちょっと少ない。そうすると選択肢は3しかないね。

定期テストに導入したいアウトプット型の評価問題(中学校外国語)

前月に引き続き、全国学力・学習状況調査予備調査の問題から、今、どのような力が求められ、どのような授業改善が必要なのか考えています。本調査から日常の授業の組立を見直すとともに、学習指導要領に沿った評価問題のサンプルとして、定期テストへの導入を検討していただければと思います。

全国学力・学習状況調査予備調査に見られる「聞くこと」を評価する問題

聞くこと(4) 英語の授業中に、先生からある提案があり、用紙が配られました。先生の話聞いて、**あなたの考えを1文以上の英語で簡潔に書きなさい**。解答時間は1分です。(聞く→書く 技能統合問題)

放送される原稿)

Our English teacher Mike is going back to his country this month. Let's do something with him at school. **What do you want to do with him?** Give me your answers after class.

解答例) 例) I want to sing with Mike.

正答の条件) ①マイク先生と一緒にできることを書いている。(英語の問いかけに適切な応答をしている。)
②1文以上の英語で書いている。

条件①、②を満たし、おおむね正確な英語(コミュニケーションに支障がない程度の文法・語法等の誤りがある)で解答しているもの。

質問を聞き取り、その内容に適切に反応する力を育てる授業

□帯活動で基本的な対話の練習をする

予備調査「話すこと」(1)で出題された内容

- ① What time is it now?
- ② How many children are there?
- ③ What is this woman doing?

絵を見ながら、放送の質問に話して答える問題



- 教科書巻末資料 クイックQ & Aは、既習表現の復習をする際に有効です。単語のみで回答していないか等、評価規準を明確にして子供の姿を見取り、支援していきましょう。
- ペア活動で質問に答える側の生徒は、聞く必然性を高めるために、「ワークシートを見ずに」対話するようにします。「相手のことを集中して聞く対話になっているか、確認してみましょう。」

□聞き取った内容を基に「話す・書く」活動に取り組む



場面や状況を伝え、生徒に応答させるのがポイントです!

(生徒が聞き取る英文の例)

- What will you do next Sunday if the weather is good?
- If you live in Canada, what do you want to do there, and why do you want to do it?
- Next summer, a foreign friend is going to come to Japan and stay at your house for one month. Please tell him what he can enjoy in Japan.

相手の要望に応じ、応答する問題(H29県立高校入試)

- Yuka: Is there anything else I can do for you?
Nancy: Well...yes! I'd like to see interesting events in this town. Can you help me?
Yuka: Sure.()

予備調査の採点がどのように進められたのか、その基準が国立教育政策研究所HP「解答類型」に示されています。指導改善については、各設問の正答の条件も参考にしながら、取組を進めていただければと思います。「即興で話す」等、新たなテーマについても段階的なステップを踏みながら、指導を進めましょう。



特別支援教育ほっと通信



平成30年12月
西部教育局

【考えてみましょう】

A小学校の知的障がい特別支援学級では、実態に応じて**特別な教育課程**を編成し、**生活単元学習**をしています。
合わせている各教科等は、生活、国語、社会、算数、音楽、道徳、自立活動です。

何かおかしくないですか？



知的特別支援学校小学部の各教科

生活 国語 算数 音楽 図画工作 体育

特別な教育課程については、
ほっと通信の10月号で御確認ください。

法的根拠

学校教育法施行規則 第三十条第二項

特別支援学校の小学部、中学部又は高等部においては、知的障害者である児童若しくは生徒又は複数の種類の障害を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合において特に必要があるときは、**各教科、道徳、外国語活動、特別活動及び自立活動**の全部又は一部について、**合わせて授業を行うことができる**。

知的特別支援学校小学部の教科に
社会、理科はありませんね！
つまり、**社会を合わせることは不可能**です。



「各教科等」を合わせた指導とは・・・

知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校においては、児童生徒の**学校での生活を基盤として、学習や生活の流れに即して学んでいくことが効果的**であることから、従前から、「日常生活の指導」、「遊びの指導」、「生活単元学習」、「作業学習」などとして実践されてきており、それらは「各教科等を合わせた指導」と呼ばれています。



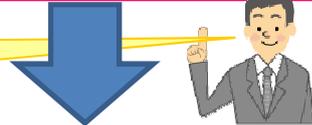
小学部には、「総合的な学習の時間」は設けられていません。
中学部及び高等部の「総合的な学習の時間」は合わせるできません。

【知的障害のある児童生徒の学習上の特性等】

- ◇学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、実際の生活の場面の中で活かすことが難しい。
- ◇成功経験が少ないことなどにより、主体的に活動に取り組む意欲が十分に育っていないことが多い。

「特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編(小学部・中学部)より」

だからこそ、
以下のことが大切になります！



◇**実際の生活場面に即しながら、繰り返して学習することにより、必要な知識や技能等を身に付けられるようにする継続的、段階的な指導**

一度身に付けた知識や技能等は、
着実に実行されることが多い。

◇児童生徒が頑張っているところやできたところを細かく認めたり、称賛したりすることで、児童生徒の**自信や主体的に取り組む意欲を育むこと**

◇**実際的な生活場面の中で、具体的に思考や判断、表現できるようにする指導**

抽象的な内容の指導よりも、具体的に！

◇**学習環境の効果的な設定や周囲の理解などの環境的条件を整え、学習活動への主体的な参加や経験の拡大を促していくこと**

教材・教具、補助用具等

関わり方の一貫性や継続性の確保